

おおいた災害支援つなぐネットワーク（O-Link） 令和7年度 事業報告書

設立から令和8年3月31日まで

1. 事業の成果

昨年6月24日に設立総会を行い、翌25日には大分県と全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）と三者連携協定を結び、大分県での災害中間支援組織としての業務を開始した。平時では情報共有会議（とよのくに会議）を中心に構成員間やネットワーク団体との連携促進を行ない、また九州内や全国の災害中間支援組織との連絡もとれるような関係作りができた。

災害時としては、昨年11月に発災した大分市佐賀関大規模火災の避難所を中心とした被災者支援を行なった。いまでもコミュニティ維持の部分で支援をしている。

2. 事業実施に関する事項

(1) 平時に行う活動

- ① 県内行政機関や各社会福祉協議会、支援団体および会員との常時情報連携や研修、訓練等実施
 - ・「とよのくに会議（情報共有会議）」の開催、運営企画 月1回を基本に実施 定例化
7月31日に開催された第1回会議を皮切りに、3月末までに「とよのくに会議」は計15回開催し、うち8回が平時での開催となった。
累計でのべ421の個人・団体に参加いただいた。
 - ・内閣府モデル事業（連携会議）の実施
10月26日に災害中間支援組織の勉強会(連携会議)を佐賀災害支援プラットフォームを講師として実施した。
 - ・大分県が主催する総合防災訓練への参加、協力
11月24日に杵築市において実施予定であった総合防災訓練は後述の令和7年大分市佐賀関大規模火災の発災に伴い中止となった。当初予定していた被災子どもの居場所訓練については実施できなかったが、事前準備を行う中で会員や県、実施自治体との連携がはかれた。
 - ・災害想定した情報共有会議の定期シミュレーション実施【内閣府モデル事業 連絡会議
12月12日別府市において、九州・沖縄災害中間支援組織連携会議を開催した。当初は別府市での津波災害を予定した図上訓練を行う予定であったが、佐賀関大規模火災の発災に伴い、急遽被害状況の報告や過去の類似事例の調査、支援対策の検討を行った。
 - ・専門団体との連携による災害弱者・要支援者想定避難及び避難所想定生活復旧支援訓練、ならびに構成員会員の募集や、企業参加加入のための研修として内閣府モデル事業を活用し、下記3回の研修を開催した。
 - 6月24日：災害中間支援組織が行う被災者支援コーディネーションについて
講師：明城徹也（JVOAD 事務局長）
 - 10月26日：キャンプのスペシャリストが教える！防災体験教室
講師：中内信孝（O-Link 理事、大分市キャンプ協会 会長）

2月24日：災害ケースマネジメントの達人 NPO の秘伝伝授

講師：阿部知幸（フードバンク岩手 副理事長/いわて災害支援ネットワーク INDS）

- ② 全国の災害支援団体や中間支援組織、災害関連団体との情報交換および支援活動の情報共有
- ・（専門的）支援団体およびボランティアの活動状況把握とリスト化
令和8年2月に内閣府のテスト事業団体に選定され、大分県18市町村の被災支援14分野のリストアップを行った
 - ・他県の情報共有会議への参加、九州災害中間支援連絡会への参加
1月19日熊本市KVOAD事務局にて開催された九州地区災害中間支援団体連絡会に主席した。
11月に発災した佐賀県大規模火災の対応のお礼並びに復興状況の説明と今後の支援について連携いただくよう情報交換を行った。
 - ・「ぼうさいこくたい2025 in 新潟」（9月6, 7日）への参加、情報収集
0-Linkからは代表の山下と理事の斎藤の2名で9月6, 7日の2日間、新潟市朱雀メッセで開催された「ぼうさいこくたい2025 in 新潟」に参加した。現地では各種ワークショップに参加し、他県の状況の把握や関係強化につながるよう情報交換を行った。
 - ・全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）フォーラムへの参加、情報収集
11月12日、東京都大手町にて開催された官民連携モデル事業報告会、ならびに1月20日に同じく東京都大手町にて開催された第1回災害中間支援組織全体会に参加した。災害中間支援組織の運営について学ぶとともに全国の事業運営者と意見交換、情報収集ならびに関係構築を行った。
- ③ 県内外の災害・防災に関する事象を記録し、平時の活動とあわせたホームページやSNS、出版物等での広報活動(情報発信)
- ・ホームページの修正更新、会員SNSグループでの情報交換
 - ・事務局での災害に関する資料整理、閲覧
- ④ 県内外の被災地ですぐにボランティア活動に着手支援できるように、レスキュー資機材の備蓄状況の把握と情報共有
- 各市町村の災害対応計画や災害備蓄計画、災害時協定等の資料の把握、整理に着手した。
- ⑤ 災害発生初動時に機動力を発揮するため、人材派遣の必要性を把握する災害先遣隊要員、及び支援団体や行政など関係組織の連携調整を図るコーディネーターの育成
- ・被災者支援コーディネーターの募集、養成研修、認証（独自資格）
未着手
 - ・被災者支援および専門的災害ボランティアの募集、養成研修
未着手
 - ・災害中間支援組織としての行動マニュアルの作成
行動マニュアルの作成に着手。

(2) 災害時に行う活動

- ① 災害発生初動時に派遣する先遣隊情報を基に、必要な支援状況の把握
 - 被災地での情報収集活動
9月熊本県八代市降雨災害ボラセン、ならびに11月大分市佐賀関大規模火災避難所に0-Linkから支援員の派遣を行った。
- ② 応急時、復旧・復興期とフェーズが移行する段階その時々に応じた支援調整を行う
 - 「とよのくに会議（情報共有会議）」の開催呼びかけと運営実施
8月12日(火)八代市降雨水害、並びに大分市佐賀関大規模火災発災翌日の11月19日から翌年1月8日かけて、合計7回とよのくに会議の災害時臨時開催を行った。
- ③ 支援団体などへの情報共有と支援団体間のコーディネーションを行い、支援活動を実施するための資材・人材の蓄積
 - 災害支援以外のNPOへの活動場面での協力依頼
佐賀関大規模火災：NPO法人子育て応援ワクワクピース：タオル寄贈
佐賀関大規模火災：わだ-ペット牧場：タオル・衣類寄贈
佐賀関大規模火災：関愛会・NPO法人大分県ノルディック・ウォーク連盟支援協定締結
避難所や仮設住宅でのコミュニティづくり、孤独孤立の解消、炊き出し支援が可能な団体
 - 専門団体との連携による被災者向けイベント企画運営、被災者向け復興関連相談交流会
関愛会：避難者支援：薄焼き提供コーディネート
スケッチガーデン：避難者支援：お花寄贈
スケッチガーデン：避難者支援：ハンドケア・バザール開催
関愛会：被災地支援：ふれあいあいカフェ餅つき会
スケッチガーデン：被災地支援：「ひとにぎりの塩」上映会
- ④ 構成団体ネットワークにおける支援ノウハウを基に、災害規模や地域の実情に応じた支援策の提言と支援後の検証実施

*このほか別紙活動報告書参照

以上

団体名： おおいた災害支援つなぐネットワーク(O-Link)

令和7年度 活動計算書

令和7年 6月 24日 ～ 令和8年 3月 31日 まで

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
受取会費(正・準会員)	42,500	
受取会費(賛助会員)	30,000	72,500
2. 受取寄付金		
受取寄付金	1,381,708	
資産受贈益	0	
施設等受入評価益	0	1,381,708
3. 受取助成金等		
受取民間助成金	0	
受取公的補助金	1,000,000	1,000,000
4. 事業収益		
①県内行政機関や各社会福祉協議会、支援団体および会員との常時情報連携や研修、訓練等を実施する	960,000	
②全国の災害支援団体や中間支援組織、災害関連団体との情報交換を常時行い、支援活動の情報を共有する	20,000	
【1】 平時活動		
③県内外の災害・防災に関する事象を記録し、平時の活動とあわせたホームページやSNS、出版物等での広報を行う(情報発信)	0	
④県内外の被災地ですぐにボランティア活動に着手できるように、レスキュー資機材の備蓄状況の把握と情報共有をする	0	
⑤災害発生初動時に機動力を発揮するため、人材派遣の必要性を把握する災害先遣隊要員、及び支援団体や行政など関係組織の連携調整を図るコーディネーターの育成	0	
【2】 災害時活動		
①災害発生初動時に派遣する先遣隊情報を基に、必要な支援状況の把握を行う	0	
②応急時、復旧・復興期とフェーズが移行する段階その時々に応じた支援調整を行う	0	
③支援団体などへの情報共有と支援団体間のコーディネーションを行い、支援活動を実施するための資材・人材などを効果的に投入する	0	
④構成団体ネットワークにおける支援ノウハウを基に、災害規模や地域の実情に応じた支援策の提言と支援後の検証を行う	0	
【3】 その他第3条の目的を達成するために必要な事業	0	980,000
5. その他収益		
受取利息	213	
雑収益	0	213
経常収益計		3,434,421
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
役員報酬	0	
給料手当	253,500	
法定福利費	702	
人件費計	254,202	
(2) その他経費		
諸謝金	25,000	
消耗品費	346,015	
事務用品費	31,007	
旅費交通費	87,108	
通信運搬費	216,139	

賃借料	250,000		
印刷製本費	9,997		
広告宣伝費	10,000		
接待交際費	1,500		
支払寄附金	373,270		
支払手数料	3,190		
その他経費計	1,353,226		
事業費計		1,607,428	
2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	0		
給料手当	0		
法定福利費	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
事務用品費	4,758		
その他経費計	4,758		
管理費計		4,758	
経常費用計			1,612,186
税引前当期正味財産増減額			1,822,235
法人税、住民税及び事業税			82,600
当期正味財産増減額			1,739,635
前期繰越正味財産額			0
次期繰越正味財産額			1,739,635

ただし、当法人の正味財産は1,739,635円ですが、そのうち1,699,655円は佐賀県地域災害復興支援NPO活動事業に使用される財産です。したがって、**用途の制約されていない正味財産は39,980円**です。

団体名： おおいた災害支援つなぐネットワーク(O-Link)

貸借対照表

令和8年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現預金	715,945		
未収入金	1,964,000		
前払金	1,890		
流動資産合計		2,681,835	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
有形固定資産計	0		
(2)無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3)投資その他の資産			
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			2,681,835
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	277,955		
未払費用	415,645		
未払法人税等	82,600		
短期借入金	166,000		
預り金	0		
流動負債合計		942,200	
2. 固定負債			
固定負債合計	0		
負債合計			942,200
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		0	
当期正味財産増減額		1,739,635	
正味財産合計			1,739,635
負債及び正味財産合計			2,681,835

団体名： おおいた災害支援つなぐネットワーク(O-Link)

財産目録

令和8年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	61,843		
大分銀行(一般管理費・事業費用)	15,813		
大分銀行(寄附金等管理用)	638,289		
未収入金	1,964,000		
前払金	1,890		
流動資産合計		2,681,835	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産	0		
(2)無形固定資産	0		
(3)投資その他の資産	0		
固定資産合計		0	
資産合計			2,681,835
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	277,955		
未払費用			
人件費給与	136,500		
未払法人税等	82,600		
その他	279,145		
短期借入金	166,000		
流動負債合計		942,200	
2. 固定負債			
	0		
固定負債合計		0	
負債合計			942,200
正味財産			1,739,635

役員名簿

◎印は代表理事

役 職	氏 名
理 事 ◎	山下 莖三（NPO 法人おおいた NPO デザインセンター 代表理事）
理 事	齋藤 行雄（合同会社大分ヘリテイジマネジメント 代表）
理 事	中内 信孝（大分市キャンプ協会 会長）
理 事	柴田 真佑（ボランティアグループ「暮らしつなぎ隊」 代表）
理 事	中村 康範（NPO 法人まど 理事長）
理 事	西嶋 しのぶ（認定 NPO 法人チャリティーサンタ 大分支部 代表）
理 事	板井 幸則（大分大学減災・復興デザイン教育研究センター）
理 事	村野 淳子（別府市総合防災連携官）
理 事	松永 鎌矢（NPO 法人リエラ 代表理事）
監 事	川浪 佳恵（NPO 法人べっぴん未来塾 代表理事）

※理事は順不同